

第1回 富山大学同窓会連合会幹事会議事要録 (平成20年1月28日最終版)

日時 平成20年1月22日(火) 18:38~20:03

場所 富山大学総合情報基盤センター会議室(1F事務室奥)

議題 (1) 今後の具体的な活動内容と進め方
(2) その他

出席者 高井(理), 山藤(人文), 森(教育学窓会), 中井(教育学窓会), 田淵(医),
府和(薬窓会), 中島(仰岳会), 安川(創己会)

欠席者 米原(越嶺会), 鳥居(越嶺会), 竹田(越嶺会), 赤尾(薬窓会), 奈良岡(創己会)

議事結果

議題について様々な活動方策が提案され、活発な議論を経て、以下のような活動内容と進め方が了承された。

(1) 今後の具体的な活動内容と進め方

1) 活動の中心は(1) 五福地区敷地の拡大, (2) 附属病院分院の新設, (3) 駐車場の建設, を支援することに置く。ただし、あくまで大学の意向が中心であり、連合会は側面的に協力・支援すること。

2) 富山大学同窓会連合会設立10周年記念行事として寄付金を集め同窓会館を設置すること。

3) 活動の基本は同窓生に対して「何をやっているか」を周知すること。広報やホームページを活用して本会の活動を見せること。従って、資金調達を第一目的とした活動は当面しないこと。

4) 広報の発行、ホームページの充実化は、芸術文化学部 of 学生アルバイトを雇って実施し、手当を支給すること。一案として、高岡キャンパスに同窓会分室を設けて広報活動の拠点とすることが提案された。

5) 支部活動については、活動の基本目的は交流と親睦を図ることとし、いくつもの支部活動を展開できないので、まず、薬窓会の首都圏支部と五福会(工学部、経済部中心の同窓会)の協力を得て、関東地区の支部活動を活性化し、全学の同窓会会員が参加できるような支部活動を展開していくこと。

なお、薬窓会の柿崎直和様から提案いただいた“「富山県民をメタボにしないキャンペーン」を始めませんか?”について、同窓会員からの活動提案については、幹事会に予め諮って審議するのが正当な手順であることを確認したが、この提案は同窓生というより現役の教職員の支援・協力が必要不可欠ということもあり、内容についての十分な審議をすることなく、1月31日に開催される予定の「会長・副会長会議」の議論を待って、対応すること。

6) 10月に講演会を開催し、総会を開催すること。

7) 大学の将来計画（キャンパス整備を含む）の構想図を作成し、夢の実現に向けて活動すること。ただし、富山大学の将来計画実現のための協力支援とキャンパスの環境整備（プロムナード、良い環境の整備）支援、実現協力、という連合会活動の一環として行うこと。

8) ホームカミングデイの開催については、大学側の協力が必要ということで、総会の時に実施すればよいとの意見があったが、後日再度諮ること。

（2）その他

1) 同窓会連合会活動において、会員からの連合会活動への提言に対しては、先ず幹事会に諮り、そこで検討して、会長・副会長へ上申し、総会で決議して、執行するという手順を踏みたいこと。

なお、1月31日の会長・副会長会議は開催の主体が不明でかつ会則にない会議なので、連合会運営の根幹に関わる問題であるとする意見があった。

2) 設立総会の決算報告を早期に実施する必要があること。

3) 幹事会を原則として隔月に開催すること。

以上。